

学校法人 福原学園  
平成22年度事業計画

平成22年 3月

# 目 次

- 1 はじめに
- 2 平成 22 年度の重点課題
  - (1) 学生支援体制の充実
    - (九州共立大学)
      - 1) 学生確保
      - 2) 教育活動
      - 3) 学生支援
      - 4) キャリア支援
    - (九州女子大学・九州女子短期大学)
      - 1) 学生確保
      - 2) 教育活動
      - 3) 学生支援・キャリア支援
  - (2) 研究体制の強化
    - (九州共立大学)
      - 研究推進
      - 研究の活性化
    - (九州共立大学・九州女子短期大学)
      - 認証評価
    - (九州女子大学・九州女子短期大学)
      - 研究推進
  - (3) 国際交流の進展
    - (九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学)
      - 国際化
  - (4) 社会連携・地域貢献の整備
    - (九州共立大学)
      - 地域貢献
    - (九州女子大学・九州女子短期大学)
      - 地域貢献
  - (5) 管理運営の向上
    - 1) 教職員
    - 2) 管理運営
    - 3) 財務
    - 4) 教育研究環境
  - (6) 自由ヶ丘高等学校
  - (7) 九州女子大学附属折尾幼稚園
  - (8) 九州女子大学附属自由ヶ丘幼稚園

## 福原学園平成22年度事業計画

### 1 はじめに

福原学園は、学是である「自律処行」の理念に基づき、「西日本でもっとも手厚い教育サービスを行う学園」を学園の基本ビジョンに掲げ、人間教育を為し、豊かな情操の涵養による調和のとれた、社会に奉仕できる人材の育成を目指している。

この基本ビジョンを達成させるため、ステークホルダーである学生及び保護者が満足する教育サービス体制の確立のため、平成20年度に6ヶ年計画の中期計画「福原学園中期計画」を策定した。

この中期計画を基に、中期計画に掲げた取り組み事業に対する自己・点検を行い、当該年度の進捗・達成度評価と次年度の課題抽出・取組項目を立案することで、各年度の事業計画を策定している。

併せて、経営方針に沿った各事業の戦略展開で、充実した教育・社会活動を行い、財政再建の継続的な推進により、経営資源を豊かにし、安定的な経営基盤を確立、および社会の信用獲得の具現化に取り組む学園運営を行っている。

近年の18歳人口の減少、学生ニーズの多様化、および昨今の経営危機による景気後退等により、私大を取り巻く環境は、年々厳しさを増しているが、学園は、その使命である教育研究活動や地域貢献活動を着実に発展させることで、社会的に評価される研究成果を上げ、社会の期待に応えられるような優れた人材を養成し、地域社会の発展に貢献していかなければならない。

各設置大学においては、教育、研究、国際交流、社会連携及び地域貢献を通じて、大学運営・教育サービスの革新を積極的に進め、学園が目指す「西日本でもっとも手厚い教育サービスを行う学園」を構築することが求められる。本年度末に予定される工学部の廃部、短大の改組申請等、本年度は学園において重要な局面が待ち受けている。昨年度までに策定された事業計画を詳細に点検・評価した上、新たな使命の達成に向けて不断の努力を傾注し、目指すべき方向性を具体化するため、本年度の事業計画を策定する。

### 2 平成22年度の重点課題

#### (1) 学生支援体制の充実

##### (九州共立大学)

##### 1) 学生確保

入試の多様化と募集広報の充実を行い、大学の特色を知った高校生から社会人に至る入学希望者の増加を図る。

入学後から卒業までの満足度向上とサポート

・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの策定及び結果のホームページ上での公開

受験しやすい環境づくり

・受験者実績数による地方会場の見直し

・入試要項の見直し

・奨学制度等の見直し

大学に関する理解促進

・本学の強みについての高校向け広報を強化

- ・インターネットを活用した広域広報の強化
- ・オープンキャンパスに向けたバスツアーの実施
- ・高大連携の促進

## 2) 教育活動

教育機能、教育活動及び教育支援の充実を図り、価値の高い教育が受けられ、設定した学習目標が達成されることを目指す。

教育専門能力の向上

- ・授業評価学生アンケートの活用充実
- ・大学FD委員会主導の授業改善
- ・内部、外部教員による「模擬授業研修会」の開催
- ・FD指導機関の設置

授業の充実

- ・Webの積極的利用と導入(授業記録の公開、ゴーイングシラバスの全科目拡大と活用)
- ・学生の学力、学生満足度の向上(授業前後のケア、理解度テスト)
- ・シラバスの改善、向上(カリキュラムコーディネーターの設置)
- ・入学時の基礎学力調査(テストの実施)
- ・出席管理システム体制の運用
- ・成績評価の公正、厳正化(GPA)

教育組織の充実

- ・社会のニーズに対応した教育組織の見直し等を行う
- ・教育支援組織の円滑な運用と効率化
- ・九州共立大学共通教育センターの設置及び運用体制の確立

学習サポートの充実

- ・入学前学習サポートの実施
- ・図書館での新入生に対する情報リテラシー教育の実施
- ・学習意欲向上のための学習支援センター誘引促進
- ・資格取得支援における学部教育との連携強化
- ・大学施設等の利用促進(キャンパスマイレージ制度の創設と運用)

カリキュラム、プログラムの充実

- ・資格取得のためのニーズに応える新カリキュラムの充実

## 3) 学生支援

学生生活の支援として、授業以外の学生生活が貴重な時間として活用できるための機能を充実する。

健全な学生生活環境の提供

- ・オリエンテーションの充実
- ・新入生に対する宿泊研修

施設設備の充実

- ・学内福利厚生施設の運営充実

人間形成の支援

- ・学友会等学生組織の活性化
- ・ボランティア活動の取組みの充実(学生スタッフの育成等)

- ・クラブ活動学生への支援、自主サークル活動の活性化、文武両道の実現
- 学生ニーズの組織的な聴取
- ・学生の代表と定期的に意見の聴取や懇談を行う(キャンパスミーティング)
- ・学長による在学中の学生満足度についての調査

#### 4) キャリア支援

社会の期待に応えられる人材として、社会が求める能力を持ち、建学の精神を理解した人材を輩出し、進路を決定する。

少人数個別指導の徹底

- ・キャリアシートの実施徹底

就職相談能力の充実

- ・キャリアカウンセラーの常駐によるキャリア支援の充実
- ・現代GP『生涯キャリア開発型教育システム』の継続及び「社会人基礎力」の醸成
- ・インターンシップの単位化
- ・キャリア支援科目の全学必修化

就職決定意識の啓発

- ・特別就職プログラムの導入、充実

就職活動支援の強化

- ・学生出身地の求人情報収集のための企業アプローチ開発
- ・就職活動準備の集中講座開講

### (九州女子大学・九州女子短期大学)

#### 1) 学生確保

入学者選抜方法の充実を行い、求める学生像が判り易く、魅力ある大学であることが積極的にアピールされている入試を実施する。

入学者受入れ方針の明確化

- ・大学、学部レベルのアドミッションポリシーの明確化及び周知

入学者選抜方法の充実

- ・学科単位の入学者選抜方法、選抜基準の見直し
- ・奨学制度の再検討
- ・学生募集における教員の高校への密接な対応

#### 2) 教育活動

教育・研究内容と方法の充実として、学習意欲を喚起させ、学習の成果が社会に貢献できる教育を行う。授業の内容が、目標を達成するための基礎となる「研究活動の成果」を反映していることとする。

学生の質の確保

- ・成績評価法、成績評価基準の明確化及び周知
- ・入学前学習のサポート
- ・低学年次における導入教育(フレッシュマン教育)の実施
- ・九州女子大学共通教育機構の設置
- ・キャリア教育の充実と教養教育の充実
- ・少人数ゼミによるきめ細かい教育の実施

授業改善の支援体制の整備

- ・FD推進委員会の効果的運用

教育組織の充実

- ・大学、学部については、人材育成ニーズに応じて定期的に点検、評価し、専攻及び学科の見直し等を行う

九州女子短期大学の改革

### 3) 学生支援・キャリア支援

学生生活支援の充実のため、授業以外の学生生活における多様化したニーズに対してサポートを充実する。

相談・助言体制の整備

- ・総合相談窓口「九女ルーム（なんでも相談窓口）」の設置
- ・生活面のマナー指導強化

経済支援の一層の拡充

- ・各種学外奨学金の情報収集と提供の充実
- ・後援会による支援事業の拡充の要請
- ・同窓会による支援事業の拡充の要請

学生ニーズの組織的な聴取

- ・学生満足度アンケートの実施
- ・学生代表との定期的な意見交換システムの導入(キャンパスミーティング)

ボランティア活動のサポート体制

- ・周辺地域の小学校へのボランティア活動

就職活動支援の充実

- ・企業等に対する人材アンケート調査の実施
- ・雇用主による卒業生の実績評価
- ・免許、資格支援体制の強化

## (2) 研究体制の強化

### (九州共立大学)

#### 研究推進

産学官の連携を推進し、外部資金の積極的活用を図る。

共同研究及び受託試験等の促進

- ・研究助成金の応募を促進する
- ・隔年に研究発表会を実施する
- ・学外フェアへ積極的に参加する
- ・学園設置大学と連携した総合研究所の整備充実を図る
- ・奨学寄附金の獲得を推進する
- ・研究における社会との連携を図り、受託研究の促進を図る
- ・大学研究紀要の見直し
- ・大学研究紀要、学会誌、学術雑誌への積極的投稿を図る

#### 研究の活性化

- ・個人研究費の傾斜配分
- ・全学的な教育充実のための研究費増額

### (九州共立大学・九州女子短期大学)

#### 認証評価

- ・財団法人日本高等教育評価機構の認証評価の受審
- ・財団法人短期大学基準協会の認証評価の受審

### (九州女子大学・九州女子短期大学)

#### 研究推進

研究活動の点検・評価を行い、競争的資金への応募や共同研究等を積極的に推進し、外部資金の獲得、地域社会との研究活動の連携強化及び支援体制の構築を目指す。

##### 社会的ニーズへの対応

- ・教育実習現場等との連携強化
- ・評価内容の向上、改善に直接的に結びつけるシステムの整備
- ・ボランティア活動の教育システムとしての推進
- ・学外体験学習(フィールド型授業)の推進

##### 授業改善の支援体制の整備

- ・カリキュラムと融合したIT活用教育の推進

##### 研究活動の促進

- ・競争的研究資金(科研費等)への応募の義務化や共同研究の積極的な推進
- ・地域社会との研究活動の連携強化及び支援体制の整備
- ・優れた研究活動に対する報奨制度の制定
- ・研究活動の成果に対する点検、評価の実施

### (3) 国際交流の進展

#### (九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学)

##### 国際化

国際化への対応として、世界各国との交流を活発化する。

##### 協定校との交流拡充

- ・留学生支援体制の充実
- ・学生及び教員の相互交流推進
- ・海外協定校の拡大

### (4) 社会連携・地域貢献の整備

#### (九州共立大学)

##### 地域貢献

地域社会発展への貢献として、地域の高等教育機関・地域交流の場として機能する。

##### 地域企業・他大学との連携

- ・学園の研究、実験設備を利用したオープン・ラボ、レンタル・ラボ構想
- ・KIGSとの連携強化(エンジニアリングカレッジ等の連携・共同企画・推進)
- ・地域大学との授業交流(大学コンソーシアム関門)

##### 高大連携強化

- ・系列高校との連携
  - ・近隣高校との連携拡大
- 地域の生涯学習機会の充実(大学施設の開放等)

- ・公開講座プログラムの拡充
- ・行政、地域団体との連携強化
- ・ボランティア活動支援強化及び主催事業の推進

大学の教育研究成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制が整備されている。  
情報公開等の推進

- ・大学の教育研究活動等の状況に関する情報を積極的に社会に提供
- ・「生涯学習研究センター人材バンク」の整備と拡充

## (九州女子大学・九州女子短期大学)

### 地域貢献

地域社会発展への貢献として、大学の教育研究成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制を整備する。

情報公開等の推進

- ・大学の教育研究活動等の状況に関する情報を積極的に社会に提供

## (5) 管理運営の向上

### 1) 教職員

人事の適正化を実施し、教職員の採用・昇任の方針が明確に示され、かつ適切に運用し、評価結果が教育研究に反映され、職員の資質向上のための取組みとなる仕組みの構築をする。また、事務等の効率化・合理化を図り、教育研究支援のための事務体制を構築する。

教員の人事評価

- ・教員の人事評価等について、大学全体の共通的评价項目等の基本的な枠組みを構築
- ・教員の昇任基準の明確化

・大学における教員の昇任基準について、昇任の公平性をさらに高めるため、各学部に既存する昇任基準の平準化

事務職員等の人事評価

- ・事務職員等の人事等評価について、民間企業等における人事考課制度を参考にしつつ、合理的な評価システムを構築

評価結果の活用

- ・評価結果は、給与等でのインセンティブ付与や任期付き教員の再任審査の基本的項目の一つとして、審査に反映させる等の仕組みを設計

事務職員等の人事制度

- ・事務職員等の資質向上のため、階層的研修を含め研修の充実を図り、大学運営の中核を担い得る事務職員等を育成するための人事システムを構築

事務組織の機能・編成の見直し

- ・職員の再配置や事務組織の再編等により、事務機能の高度化

### 2) 管理運営

管理運営の改善及び効率化を図り、機能させる。管理部門と教学部門の連携に務める。

また、社会的責務を果たすため、財務情報を公開する。

効果的・機動的な運営

・福原学園教学懇談会を活用し、各種情報を学園の構成員が迅速に共有できるようにするとともに、教学と経営の意志決定システムの円滑な運用

・各種委員会については、全学的な意志決定を効果的、機動的に行える体制を整備する観点から、各種委員会の見直し、再編

・事務情報化を推進するとともに、設置大学内の一元化

教員・事務職員等による一体的な運営

・各種委員会に事務職員等が参画し、一体的な運営の実施

情報公開等の推進

・財務内容の状況に関する情報を積極的に社会に提供、危機管理の体制を整備し、かつ適切な運営

危機管理体制の整備

・各種災害等の防止のため責任体制を明確化し、防止に関する対策を推進

### 3) 財務

財務内容の改善を図る。

経費の抑制

・教育、研究の充実を図り、効果的な大学運営の仕組みを構築し、管理運営経費の抑制

資産の運用管理

・中期財政計画を策定

### 4) 教育研究環境

教育研究環境の整備・充実を図る。

附属図書館の整備と活用

・新しい学術情報の在り方に適応する機能の整備、利用者のニーズに応じた効果的なサービスの提供

計画的な施設整備と既存施設設備の有効活用

・施設設備や情報基盤等の教育環境を整備充実

## (6) 自由ヶ丘高等学校

### 1) 県下有数の進学校を目指した指導体制の強化

本校の教育目標、教育方針に沿って、生徒の学力等を踏まえた教育課程の編成を行い、各コースの特色を活かした教育の充実を図り成果を上げる。

また、平成22年度より学科・コースの再編で、普通科特別進学コースと進学コースの2コースとした。特別進学コースにおいては、受験対策指導の強化を図り難関国立大学・難関私立大学の現役合格者の増加を目指す。進学コースにおいては、全体的なレベルアップを図るための教科指導、生徒指導を徹底し、北九州におけるブランド校としての位置付けを図る。

### 2) 教職員の資質能力向上

教職員の資質・能力向上のため、全教職員を対象とした校内研修会、講演会を実施し、教育指導及び生活指導のさらなる向上を図る。さらに、フィードバックアンケートを活か

して生徒の実態に合わせた「わかる楽しい授業」の確立を目指す。

**3) 部活動の指導強化と環境の整備**

本校が掲げる「文武両道」の高等学校を目指し、部活動の強化に積極的に取り組むと共に環境・施設の整備にも努める。

**4) 募集活動の強化**

福原学園の財政再建策や公立高校授業料無償化、歳人口の減少等、厳しい現状の中、志願者数・入学者数の安定的確保のため、中学校・塾に対する積極的な広報活動に努める。

また、本校独自の奨学金制度を再検討し、効果的・効率的な運用を図ることにより、優秀な入学生の確保を目指す。

**5) 諸経費の見直しを図る**

光熱水費、紙等の消耗品費等の経常経費の支出を抑制するため、業務遂行の改善を図る。

**(7) 九州女子大学附属折尾幼稚園**

**1) 日常の保育活動の充実について**

一人ひとりを大切に作る人間性豊かな教育環境を創造  
気配り・目配りの行き届いた幼稚園を目指す

**2) 地域や大学との連携による個性豊かな活動について**

福原学園の教員による「科学的遊び」での体験を通して科学の面白さ不思議さに興味  
関心を持てるようにしていく。また、九州共立大学の教員と学生による「幼児体育」を  
行い、心身ともにたくましく規律ある安全な行動力を身に付けさせる  
地域の実情や幼児の家庭のそれぞれの事情をも考慮した保育活動を工夫

**3) 教育効果を高める理論と実践の研究、その他**

保育事例に改善と工夫を加え「幼児の個性や能力の伸長」を期す教育課程の改訂を完  
成

インターネットのホームページを公開し、折尾幼稚園に関する新しい情報交換を推進

**(8) 九州女子大学附属自由ヶ丘幼稚園**

**1) 正課(保育内)の充実について**

九州共立大学スポーツ学部の講師等によるLACとの連携  
九州女子大学との連携による英語教育及び調理実習等の検討

**2) 課外授業の充実について**

保護者の要望に応え、ピアノ教室・体操教室の取り入れを検討  
ECC英語教室・あとえ真田(絵画教室)・ベストスイミングの充実

**3) 広報活動の拡充について**

インターネットを利用した資料請求システムの整備及び園児募集関係パンフレット等  
の見直し

未就園児の誘因につながる方策の検討